

平成20年度事業報告

特定非営利活動法人 菟子どもセンター

1. 平成20年度目指したこと

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む環境創りをめざす

20年度のテーマ「**出会いは笑一顔であいさつ、笑顔で広げる活動**」

(1) 舞台鑑賞会に誘い合っ参加し、子どもたちに生の舞台を、そしてみんなで楽しみましょう。

今年度は、6月に松元ヒロの「松元ヒロソロライブ」と12月にロバの音楽座の「らくがきブビビのコンサート」、3月に蒼い企画の「びりとブッチーのクラウニングシアター」の3作品を企画、実施しました。どの作品も、1つ1つ心に残るすばらしい公演だったのですが参加人数が少なかったのが残念でした。

他団体との協働では、劇団四季の公演の実行団体として運営にかかわり、たくさんの方に喜んでいただきました。

「今に時代だからこそ、子ども達が文化に触れることは大事。舞台は演じる者と観るものとキャッチボール、だからこそ同じ空間、同じ時間で共有することは大事なこと。同じ家にいてもお父さんは新聞を読んで、お母さんは家事をして、子どもはテレビ、みんな違う面を見てる。舞台は同じものを見ることができる。これからも素敵な生の舞台との出会いをつくっていきます。

(2) さまざまな体験活動を通して、子ども達に自ら考える力、判断する力、行動する力、そして、子どもも大人も互いに協力しあっていきましょう。

ストリートダンスやサマーキャンプ、こどもまつり、ピヨピヨの会など、それぞれの事業にたくさんの親子や家族、子ども達が参加しました。こどもまつりでは、高校生ボランティアを募集して市内の3つの高校の生徒さんから申し込みがありました。最初は子どもたちとどうやって接していいか戸惑っていた高校生も時間とともに慣れて、頼もしいお兄ちゃん、優しいお姉ちゃんとして子どもたちと楽しく遊んでいました。こうした子どもとふれあう機会がくれた事、またその体験がこれから大人になっていく高校生の財産になってほしいと思います。ダンボール遊びのコーナーでは、子どもの豊かな発想力、想像力を感しました。子どもの持つ力を信じて活動していくことの大事さを実感しました。

ストリートダンスは、年間50回、延べ500人を超える参加で、「ダンスを通して自分をもっともっと表現できるよになった!」「上手く踊ることも大切だけど、みんなで笑顔で楽しく踊ることの方が大切と感じた!」など、ダンスを通して、異年齢の子どもたちとのかかわりの中で、大切なものをしっかり感じて成長している子どもの姿がありました。

ピヨピヨの会は、会員外のお母さんがスタッフに加わり運営しています。他団体のご支援・ご協力があり、子育て支援の場をつくってこれました。これからは少子化でもあり、他の子育て団体との連携をとりながらすすめていくことも必要があるように思います。今年度新しい企画や工夫をして延べ257世帯の参加がありました。

(3) 会員の輪を広げましょう。

今年度、1人の若い青年の方の入会がありました。こどもまつりに来られて、「僕も何かできることはありませんか。」と声をかけてくれたのがきっかけです。活動に共有し、仲間に加わってくれたことがとても嬉しく、会にエネルギーとパワーをくれました。

(4) これからの会について考えていきましょう。

今、会は大きな転換期にきています。会の財政は厳しいのが現状です。今後、子どもセンターがどういう方向性ですすんでいくのか会のみで真剣に話し合っていきたいと思っています。

2. 事業の実施に係る事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	受益対象者の範囲及び予定人数
舞台鑑賞事業	<p>舞台鑑賞</p> <p>●「らくがきブビビのコンサート」 ロバの音楽座</p> <p>普段あまり目にする事のない楽器や手作りの不思議な楽器の音色に子どもたちは真剣に聞き入っていました。次々に現れる不思議な楽器、やさしく包みこんでくれるような音色、歌、とても優しいハーモニーで聞いている大人はとても癒しの時間を過ごせました。アンコールには、クリスマスも近いということもあって、みんなで「ロバのクリスマス」という曲を歌いました。とてもいいコンサートでしたが、参加者が少なかったのは少し残念でした。</p> <p>●「びりとブッチーのクラウニングシアター」 蒼い企画</p> <p>計画ではこどもまつりに合わせての公演予定でしたが、日程の調整がつかず3月の公演になりました。体の太い細い対照的な二人のクラウンの小さい子から大人まで楽しめる公演でした。すべての芸が温かく優しく感じました。参加が少なく、会場をコンパクトにしましたが、それでも広い体育館の会場設定は、参加者からもう少し工夫をの感想があり課題を残しました。</p>	<p>12月15日 (月) 18:30~</p> <p>3月27日 (金) 18:30~</p>	<p>萩市民館 小ホール</p> <p>土原体育館</p>	<p>108人</p> <p>64人</p>
	<p>子ども舞台芸術小公演（フェスティバル）</p> <p>● 松元ヒロソロライブ 松元ヒロ</p> <p>今年も松元ヒロソロライブを鑑賞しました。世情の移り変わりが激しい今日、裁判員制度や死刑制度、障害者支援制度など、今回はちょっと重いテーマが多かった感じですが、そこをうまく、また笑いを絡めて話してくださいました。アンコールの「今日のニュースと天気予報」では、会員の三上さんが原稿を読まれるのに合わせ、絶妙のパントマイムで会場は大爆笑でした。</p>	<p>6月5日 (木) 19:00~</p>	<p>福祉センター</p>	<p>119人</p>

子どもの諸活動 支援事業	<p>高学年活動</p> <p>● サマーキャンプ</p> <p>夏休み後半ということもあり、参加者が少なかったのは残念でしたが、参加した子どもたちはそれぞれに楽しい思い出を作れたようでした。高学年の例会がキャンプだけになったのは残念でした。</p> <p>(参加者の感想：高3 伊藤恵輔)</p> <p>今回のキャンプはとても人数が少なかったにもかかわらずとても楽しかったです。夜には大人の皆さんと焼肉をしたりみんなでワイワイ話したりなどとても楽しい夜を過ごせました。誰一人けがなく終われてよかったです。これからもみんな仲良く過ごしたいです。</p> <p>● 第30回中高生交流会in宇部</p> <p>今年は、萩から子ども5人と引率者1人の6人が参加して県内の中高生の親交を深めることができました。また、実行委員会に有田和永さんと田中涼子さんがなってリーダーとしての役割を果たしました。</p> <p>(参加者の感想 高校³年 有田和永)</p> <p>今年は年上の実行委員がいないのでみんなを引っ張るのは本当に僕らの代になり少し不安でした。しかし、みんなそれぞれに頼れるところがありお互いサポートしながら上手くできました。そんながんばる皆の背中が大きく見えて、本当に実行委員がかっこよく感じました。僕自身も昨年より班のメンバーとしっかり関われたし、班以外の人ともうまくやっていけてよかったです。実行委員、班長、個人としてこの交流会に参加できて良かったです。</p> <p>(参加者の感想 高校³年 田中涼子)</p> <p>今回が初参加の子も多く、私の班にも4人いましたがみんなが打ち解けて本当に楽しそうでした。実行委員をするのは今年で2回目でしたが、だいぶ広く目が届いたように思います。何か小さな問題が生じても誰かがすかさず解決案を出し、時には意見を出し合ってスムーズに進められました。普段、新中学1年生から旧高高校3年生までが一緒になって何かをするということはないので、毎回この交流会を楽しみにしています。やらされるのではなく、自分たちで参加するからこそその楽しさだなあと感じます。とてもいい経験をしました。学年も地域も違う人たちが何十人も集まって活動することはあまりないから、この楽しさと充実感をぜひ味わってほしいです。</p>	<p>8月19日 (火)～ 20日(水)</p> <p>3月29日 (日)～ 30日(月)</p>	<p>川上阿武 川温泉</p> <p>アクトビ レッジ小 野</p>	<p>9人</p> <p>6人</p>
-----------------	---	---	--	---------------------

	<p>● 田町まるごとYOU・友・遊 子どもまつり ～秋の巻～</p> <p>すこし肌寒いお天気でしたがたくさん子どもたちが遊びに訪れてくれて、どのコーナーも賑わっていました。初めての試みだった高校生ボランティアの生徒さんも子どもたちと一緒に遊んでくれていました。ダンボール遊びでは、初めはもう1つ遊び方がわからなくて戸惑っていたようですが、午後からはその豊かな発想が全開し、ダンボールのトンネルどんどんつなげられていって、とても面白いものいろいろと出来上がりました。たくさんの団体の協力を得て、今年も子どもまつりが盛況のうちに終えられたことに感謝し、さらに輪を広げていきたいと思います。</p> <p>協力いただいた団体 萩市田町商店街振興組合連合会 NPO萩まちじゅう博物館 明倫小学校4年生 山口県看護協会萩支部 生活協同組合コープやまぐち北部支部 萩ブロック 山口福祉文化大学</p> <p>指導者 竹とんぼ 秋山さん こま回し 西岡さん ジャグリング ストークバム吉田さん</p> <p>高校生ボランティア 光塩 2人 萩高 1人 萩商工 5人 計8人</p> <p>一般スタッフ 16人</p> <p>(協力いただいた団体の感想) ・いろいろな企画がありとても楽しい雰囲気でした。他の出店も見ながら自分自身も楽しかったです。正直なところこんなに子どもがいたんだとびっくりでした。子どもたちも1日中商店街にいて大成功だったと思います。 ・イベントの前後の話し合いがあればよいと思います。</p> <p>(高校生ボランティアの感想) ふだん、子どもと接することがないのでとても楽しかったです。</p>	10月26日 (日)	田町商店街	不特定多数
--	---	---------------	-------	-------

	<p>● 環境学習講座 「リサイクル施設見学とエコ工作」 共催／財団法人山口県ひとづくり財団 環境学習推進センター</p> <p>こどもまつりの同時開催として取り組みました。新しくできたエコプラザの見学と廃棄物を利用したエコ工作（ジャグリング体験）をしました。身近なところから楽しみながら環境について考えるよい機会になりました。</p>	10月26日 (日)	エコプラザと田町商店街	20人
	<p>● ストリートダンス</p> <p>きらめき財団のジャンプアップ助成をいただいで2年目になります。男の子が卒業して今年度は女の子だけになりました。小学生から高校生が練習を重ね、地域のイベントの積極的に参加して成果を発表できました。</p> <p>7月：田町土曜夜市 8月：萩夏まつり 11月：萩ふるさとまつり 12月：田町クリスマスイベント</p> <p><u>【参加者の感想：高校生 佐伯夢子】</u> ダンスは週1回しかありませんが、毎週仲間と仲良く踊っています。小学生から高校生と幅広いですがみんな仲良く、ダンスもしつつ途中話したり、いつもにぎやかです。上手に踊ることも大切だけど、みんなで楽しく笑顔で踊ることの方が大切だと気づきました。</p> <p><u>【参加者の感想：高校生 生利聖香】</u> ストリートダンスはとても温かくて、はじけたキラキラしたグルーブだと思います。ストリートダンスを始めたことで、自分をもっともっと表現できるようになった気がします。新しい友達もたくさんできて本当に良かったと思います。これからはがんばります。</p>	4月～9月 週2回 月・水	田町商店街 JOY201	50回 延べ510人
子育て支援事業	<p>ピヨピヨの会 <u>【子育て支援部長：伊藤京子】</u></p> <p>子どものあそび場・育ちあいの場、その保護者のコミュニケーションの場として19回（うち1回は悪天候のため中止）実施しました。今年度は、例年のメニューに少し変化をつけることができました。新しい施設・夏みかんランドで遊びました。市民館小ホールでパワフルな遊びをしてみました。どんぐり拾いでは山口福祉文化大学の協力をいただきました。「準備が大変だから」と、敬遠してきたフリーマーケットを含めたおみせやさんをしました。他団体のご支援、ご協力、会員外のスタッフ、運営委員の協力があり、子育て支援の場が作ってこれました。年度末には、年間通して参加されていた子どもさんの成長した姿に感慨深いものがありました。これからは、少子化でもあり、ほかの子育て支援団体と連携とり、協力をお願いしながら進めていく必要があるように思います。</p>	毎月第1.3 木曜日 10:00～ 11:30 年19回	萩市総合福祉センターほか	延べ 257世帯

他団体の協力
(子育て支援センター 福祉)

	<p><u>【スタッフ：栄るり子】</u> 小さいうちに五感を働かせる内容をやってもらいたいです。たとえば、新緑の中の散歩、野の花や葉っぱで遊ぶなど。座敷なので寝かせてできる歯磨き指導を組み込んでほしいです。これからの子どもたちにエコの意識をつけてもらえるように、お別れ会など、軽食が出るときは、マイカップ・マイ皿を持参してもらってはどうか。毎回、遊戯、読み聞かせなどしてみたら一体感が出ると思います。</p> <p><u>【スタッフ：田中弘美】</u> 子育て支援の行事や遊ぶ場所が以前に比べて増えてきたように思いますが、利用する人が減ってきているように思います。その中で、ピヨピヨは長い活動であるにもかかわらず、参加人数が安定しているのではないかと思います。子どもを遊ばせながら、親同士の話もできるところが魅力なのではないでしょうか。時々、行政の行事と重なることもあります。ピヨピヨは定着しているのに、避けるように要望してもよいのではないかと思います。スタッフとしても、子どもを持つ親としても、行事が重なってどちらかを選択するより両方参加させたいです。ピヨピヨは子どものサイクルが早く、会員制でもないのになかなか顔と名前が一致しません。毎回自己紹介の時間をとってみてはどうかと思います。また、初めての人がポツンとならないようにと思いながら、なかなか実行できていないのが反省点です。</p>			
子どもと文化に関する活動支援事業	<p><u>おはなしやまんば（お話の会）</u> <u>【代表：伊藤京子】</u> メンバーは3人でしたが、毎月第3月曜日に勉強会を続けてきました。また、ワンステップ上の勉強会で、山口のおはなし小箱への参加もしました。「おはなしをする」・・・簡単なようで奥深いことで、毎回何か発見があり、続けていく大切さをそれぞれが実感しています。</p>	毎月第3月曜日 9:30 ～12:00	萩市中央公民館	3人
	<p><u>会員交流</u> 今年度は、具体的な交流会が計画できなくて未消化で終わってしまいました。</p>			
子どもと文化に関する活動広報事業	<p><u>子どもと文化に関する活動の紹介、広報活動</u> おやこニュースを発行して、会の活動状況を協力会員や賛助会員に伝えました。 <u>【広報部長：有田真美子】</u> 紙面に会員の協力で絵本の紹介やおやつレシピを載せてました。会員と子どもセンターとの距離をより近づけていける内容にしてみました。定期的に出せなかったことが反省点です。</p>	おやこニュース発行		年 6回
子どもの権利条約推進事業	<p>十分な啓発活動の取り組みはできませんでした。情報を収集し、分かりやすい情報発信・啓発をしています。</p>			

その他・地域との協働	地域との協働 田町こい・鯉まつり 田町土曜夜市 夏まつり 萩ふるさとまつり 田町チャリティーイベント 劇団四季公演	5月 7月 8月 11月 12月 1月		
------------	--	------------------------------------	--	--